

基本課題8 家庭生活と職業生活その他の社会における活動の両立の支援(課題17~19)

課題17 仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
44	事業所における育児・介護休業制度の普及啓発	情報収集、調査、研究	商工課	ホームページから新潟労働局の育児・介護休業制度の情報にリンクするようホームページを見直し啓発する。	7月に新たに「雇用、労働に関する情報」として「育児・介護休業法とは」の項目を作成し、新潟労働局にリンクするようにした。また、トピックス欄を作成し新しい情報を提供した。	A	来年度も同様に情報提供をしていく。	ホームページにはアクセスログカウンターを設置して、何件アクセスがあったか把握できるようにしてはどうか。
45	労働時間短縮についての情報提供・啓発	情報収集、調査、研究	商工課	ホームページから新潟労働局の労働時間短縮についての情報にリンクするようホームページを見直し啓発する。	7月に新たに「雇用、労働に関する情報」として「労働時間短縮」の項目を作成し、新潟労働局にリンクするようにした。また、トピックス欄を作成し新しい情報を提供した。	A	来年度も同様に情報提供をしていく。	
46	ファミリー・フレンドリー企業の普及啓発	情報収集、調査、研究	商工課	仕事と育児・介護とを両立している企業についての情報を収集し、調査、研究する。	7月に新たに「雇用、労働に関する情報」としてトピックス欄を作成し、仕事と家庭の両立支援など男女共同参画推進に積極的に取り組む県の「ハッピーパートナー企業」登録募集の情報を提供した。	A	来年度も同様に情報提供をしていく。	ホームページにはアクセスログカウンターを設置して、何件アクセスがあったか把握できるようにしてはどうか。

課題18 子育て支援の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
47	子育て支援サービス及び保育サービスの充実	次世代育成支援行動計画の実施	社会福祉課	「三条・栄・下田次世代育成支援行動計画」の目標に向け各種保育サービスの充実を図る。	18年度新規事業 ・なかよし児童館でふれあい広場事業を実施し、親子の居場所づくりを実施した。 ・19年度からの事業(千代が丘保育所開所)開始に向け準備を進めた。	A		
48	市役所内の子育て事業における連携の強化	子育て支援事業連絡会議の開催	社会福祉課 健康推進課 生涯学習課 各公民館	定期的に連絡調整会議を開催し、関係課の役割の確認や事業の体系化等を検討し、有効かつ効率的な子育て支援事業の推進を図る。	・月1回開催(8回開催) ・関係課の役割の確認や事業の体系化等を検討 ・子育てに関する情報の集約、共有 ・子育て支援情報誌作成に向けた作業(原案作成)	A	・次年度は、情報誌の作成・配布を行う予定。 ・関係各課の事業について連携を含めた見直しを行う必要がある。	

49	子育て支援ネットワークづくりの支援	民間団体との連携の強化	社会福祉課	民間団体との連携を深めるため、子育てサークルのつどいの場を提供し、ネットワーク化を推進する。	7月に民間団体の取組状況について、子育て関係の3団体に、子育て支援の取組状況に関するヒアリングを実施した。	A	問題点、課題等必要に応じて情報交換を行い、連携を深めていきたい。	
50	施設ボランティア(保育ルームの設置時のヘルパー)及び子育てサポーターの養成	子育てサポーター養成講座の実施	生涯学習課	対象:子育て支援に関心がある方 時期:9月～10月 内容:子育てにかかわる保護者のサポートをする子育てサポーターの養成 20名	「子育てサポーター養成講座」を開催した。 時期:9月～10月 内容:子育てにかかわる保護者のサポートをする子育てサポーターの養成 21名	A	今年度は男女共同参画の講話が最後になったが、今後は導入部分に入りたい。	
51	子育てに関する学習機会の提供	子育て講座の充実	社会福祉課	・子育て支援センターにおける子育て講座を通して、子育てに関する知識・情報等を得る機会を積極的に設けるとともに、内容の充実を図る。 ・3か所の支援センターで年4～5回、各定員40名で開催	3か所の支援センター(田島保育所、あいあい保育所、きらきら保育園)で育児講座、親子エアロビクス等の子育て講座を実施した。 平均48名の参加	A		
		初めてのパパとママの子育て学級の実施	健康推進課	対象:妊娠7か月の初妊婦と夫 時期:三条地区毎月1回、栄・下田地区3か月に1回開催 内容:子どもの発育と父親、母親の役割、沐浴実習等	三条地区－12回開催、受講率28.7% 栄地区－4回開催、受講率10.0% 下田地区－4回開催、受講率14.6% (土曜日の午前実施)	A	来年度は地区別をなくし、月1回実施する。	
		しみん食育のつどいの実施		対象:市民 時期:11月 内容:市民一人一人が自分の健康は自分で守るという考えから、食の大切さの啓発を図る講演会を開催する。 200名	「しみん食育のつどい」 時期:11月25日 内容:給食における地産地消ビデオ上映、基調講演、おにぎりの試食等 200名	B	子育て世代の参加者及び男性の参加者が少ない。周知方法等の再検討が必要。	
就学時検診時における子育て講座の実施	生涯学習課	対象:小学校に入学する児童の保護者 時期:10月 内容:家庭教育について考える機会を提供する。	「就学時健診時における子育て講座」 時期:10月 内容:子どもの心理と基本的なしつけ 回数:各小学校(24校) 910名	A	男女共同参画についてパンフレットを配布し周知に努めたい。			

51	子育てに関する学習機会の提供	子育て講座の実施	生涯学習課	対象:小学生の保護者 時期:10月 内容:親子のふれあいやしつけ、コミュニケーションの取り方等 100名	小中学生を持つ父親及び保護者を「父親家庭教育子育て講座」を開催した 時期:12月 内容:子どもの自立・おやじの子育て参加・家族の幸せ 68名	B	・PTAの働きかけで父親の参加が得られたが、目標人数には達しなかった。 男女共同参画についてパンフレットを配布し周知に努めたい。
		妊娠期子育て講座の実施		対象:妊娠3か月の初妊婦と夫 時期:6月・9月・12月・3月 内容:親子のふれあいやしつけ、コミュニケーションの取り方等 160名	「妊娠期子育て講座の実施」を開催した 時期:6月・9月・12月・3月 内容:安心して楽しい子育てをしよう 88名	B	今後も夫婦そろっての参加を図る必要がある。
		ふれあい家庭教育セミナーの実施	生涯学習課(大崎公民館)	対象:幼児の保護者 時期:2月 内容:幼児期の家庭でのかかわり方等 詳細未定 30名	【計画変更】 対象:幼児、小中学校の保護者、子育てに関心のある方 時期:3月10日(土) 内容:生きる力を育む子育て 200名 参加者58名	C	・土曜日の開催にもかかわらず、参加者が少なかった。特に男性の参加が少なかった。 ・保護者の参加しやすい日程、広報のやり方を検討する。 ・来年度は出前講座としての実施を検討する。 ・子育てにおいて、男女共同参画の意識の向上が必至であり、特に男性の意識を高めることが重要だと思う。今後は男性の参加の拡大を図る必要がある。
		子育てトークの実施	生涯学習課(本成寺公民館)	対象:未就園児の子ども保護者 時期:未定 内容:家庭教育講演会の開催 20名	他の事業との調整がとれないため中止した。	C	今年度計画した内容で来年度は実施したい。
		どろんこプラスの実施	生涯学習課(大島公民館)	対象:未就園児の子ども保護者 時期:5月～3月の11回シリーズ 内容:読み聞かせ、親子リズム体操、食育、おもちゃ作り等	時期:5月～3月の9回開催(2回中止) 内容:読み聞かせ、親子リズム体操、食育、おもちゃ作り等 128名	B	・定員を上回った回と参加者の少ない回の差が非常に大きかった。 ・講座内容、実施方法等を検討する。 ・日曜日にも開催したが、男性(父親)の参加が非常に少なかった。
		乳幼児家庭教育学級「カンガルースクール」の実施	生涯学習課(栄公民館)	対象:乳幼児の保護者 時期:2月～3月 内容:未定(地元保育所との連携事業) 300名	対象:乳幼児の保護者 時期:3月(地区保育所4、栄保健センター) 内容:あなたの愛が子どもに伝わる 71名	C	保育所での開催は保育所行事とは別の開催であったため、参加者が少なかった。来年度は、より多くの保護者から参加してもらうために、参加しやすい日程・内容について検討する。
		思春期の子どもを持つ親のための子育て講座の実施		対象:栄中学新入学1年生の保護者 時期:入学説明会時 内容:未定(中学校との連携事業)	時期:入学説明会時(2月20日) 内容:思春期の子どもの特徴と親の関わり方 127名	A	中学校の協力を得て入学前説明会に組み入れ、新入学生の全保護者の参加が得られた。子育て講座の時間を増やせるよう学校側と調整したい。

51	子育てに関する学習機会の提供	家庭教育講座「子育てスクール」の実施	生涯学習課 (中央公民館)	対象:乳幼児の子どもの保護者 時期:9月～10月 内容:家庭の教育力向上に向け、市民から企画に参加してもらい、市民ニーズを反映させる。 20名	・保育所、幼稚園への出前講座として実施した。 ・各保育所・幼稚園との事前協議にて講義のテーマの希望を確認の上、講師を選定し、家族と一緒に協力しながら子育てをする視点を盛り込んでの講義をした。 178人(4保育所、2幼稚園)	A	共働きや核家族が増えてきている昨今、子育てにおいても男女共同参画の意識の向上は必至であり、特に男性の意識付けが重要と思われる。今後とも男性の参加の拡大を図る必要がある。	
		家庭教育講座「子育てセミナー」の実施		対象:児童期の子どもの保護者 時期:10月～11月 内容:家庭の教育力向上に向け、市民から企画に参加してもらい、市民ニーズを反映させる。 20名	・小学校へ出前講座として実施した。 ・学校、PTAとの事前協議にて講義のテーマの希望を確認の上、講師を選定し、家族と一緒に協力しながら子育てをする視点を盛り込んでの講義をした。 225人(2小学校)	A	共働きや核家族が増えてきている昨今、子育てにおいても男女共同参画の意識の向上は必至であり、特に男性の意識付けが重要と思われる。今後とも男性の参加の拡大を図る必要がある。	
		家庭教育講座「思春期セミナー」の実施		対象:思春期の子どもの保護者 時期:11月～12月 内容:家庭の教育力向上に向け、市民から企画に参加してもらい、市民ニーズを反映させる。 20名	・中学校へ出前講座として実施した。 ・中学校、PTAとの事前協議にて講義のテーマの希望を確認の上、講師を選定し、家族と一緒に協力しながら子育てをする視点を盛り込んでの講義をした。 519人(7中学校)	A	共働きや核家族が増えてきている昨今、子育てにおいても男女共同参画の意識の向上は必至であり、特に男性の意識付けが重要と思われる。今後とも男性の参加の拡大を図る必要がある。	
	家庭教育講座の実施	生涯学習課 (栄公民館)	対象:栄地区小学生の保護者 時期:9月～11月 内容:地元小学校のPTAとの連携事業、内容未定	対象:栄中央小学校の保護者、児童 時期:9月14日 内容:心と体のリフレッシュ 保護者40名、児童27名	B	多くの保護者から参加してもらうために、参加しやすい時期・方法・内容について検討する。		
	親子ふれあい教室の実施	生涯学習課 (下田公民館)	対象:下田地区小学生の保護者 時期:通年 内容:体験活動や創作活動を通して親子のふれあいを深め、家庭教育の向上を図る。 160名	対象:下田地区小学生の保護者 時期:通年(全10回) 内容:体験活動や創作活動を通して親子のふれあいを深め、家庭教育の向上を図った。 356名	A	父親の参加が少なかった。父親も参加しやすい学習機会を設ける。		
	こころの教育フォーラムの実施		対象:乳幼児期の子どもの保護者 時期:通年 内容:乳幼児における子どもの健全な育成と明るい家庭づくりのための学習機会 480名	家庭教育事業「保育所」を開催した(事業名変更) 時期:通年 内容:映写会、人形劇、読み聞かせ、レクダンス、紙芝居、講演会等 557名	A	参加目標人数には達したものの、男性の参加がすくなくなつたため、参加しやすい日時等を再検討し、提供する。		

52	保育ルームの設置	保育ルームの設置	地域振興課 健康推進課 生涯学習課 各公民館	各講座、フォーラム等の開催時に保育ルームを設置し、より多くの人から安心して参加してもらう。	・各担当課で当初設置を予定した事業については、全て保育ルームを設置した。 ・実施担当課以外でも市民向けの講演会等に保育ルームを設置した。	A	保育ルームの積極的な設置についてあらためて全庁に周知する。	
----	----------	----------	---------------------------------	---	---	---	-------------------------------	--

課題19 家庭生活における男女共同参画の促進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
53	男女共同参画意識を高める家庭教育の推進	子育て講習会の実施	社会福祉課	対象:市民 時期:11月 内容:家庭教育の推進に資する内容を盛り込んだ講習会 200名	「子育て講演会」を開催した。 時期:10月14日 内容:「児童虐待」をテーマに取り上げ、その家族を支えるための地域ネットワークの重要性について 50名	C	開催時期、開催テーマについて検討し、参加者を拡大できるようにする。	
		初めてのパパとママの子育て学級の実施	健康推進課	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	
		家庭教育講座「子育てスクール」の実施		施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	
		家庭教育講座「子育てセミナー」の実施	生涯学習課 (中央公民館)	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	
		家庭教育講座「思春期セミナー」の実施		施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	施策No51に同じ	
		一日家庭学級の実施	生涯学習課 (井栗公民館)	対象:乳幼児の保護者 時期:2月 内容:家庭の中で保護者が男女共同参画の意識をもって子どもを養育する大切さを学ぶ。 80名	対象:乳幼児の保護者(ふじの木保育園) 時期:2月24日 内容:家庭の中で保護者が男女共同参画の意識をもって子どもを養育する大切さを学んだ。 26名	C	・内容はよかったが、参加者が少なかった。 ・男性の参加がなかったので来年度への課題とする。	
54	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	「男の生き方考えてみませんか?(仮称)」講座の実施	地域振興課	対象:20代から40代の子育て世代の男性 時期:8月～9月 内容:現役子育て世代の男性を中心に男性が考える男女共同参画や男女共に仕事と育児の両立について考える。 30名	【事業変更】 恋愛応援講座を開催する。 時期:3月9日、16日 内容:独身の男女に、性別役割分業にとらわれない男女共同参画について啓発する。(2回講座) 家事(料理)を楽しむ講座(1回)を企画することで、家事への参画意識を高め、ともに生活をして互いに尊重できるようなきっかけとする。 定員20名 11名参加	B	家事参加へつなげる手法としては参加者からも好評であった。しかし、参加者数が目標に達しなかったため、来年度は内容を検討し、開催日を変更するなどしてさらに参加者を増やして啓発したい。	

54	男性の家事、子育て、介護等の学習機会の提供	初めてのパパとママの子育て学級の実施		施策No51と同じ	施策No51と同じ	施策No51と同じ		
		認知症予防啓発教室の実施	健康推進課	対象:地域住民、認知症高齢者の介護者、家族 時期:通年 内容:市内10か所の在宅介護センターに委託し、地域住民に向けて認知症予防についての知識の普及、認知症高齢者に対する接し方や介護方法等について指導を行う。特に男性への働きかけについて力を入れる。 80名男性参加目標(全体800名)	26回開催、125名(全体536名)参加	A	男性の参加者数については目標を達成したが、全体の参加者から見た割合はまだ低く、また、地区により差があるため、来年度も積極的に広報を行い、男性の参加を働きかけていきたい。	
		男の料理教室の実施		対象:市内在住の男性 時期:6月から9月 内容:基本的な食事づくりを教えることで、地域の食生活改善だけでなく、料理は女性という固定観念を捨て、男性の自立を促し、女性の社会進出を進めることができるように支援する。 20名	第一中学校区・・・4回コース、14名 第三中学校区・・・2回コース、11名 ・米のとぎ方やだしのとり方など基本的な事柄から学習した。 ・家でも料理をする機会が増えていいる実態が見られる。 ・参加者の高齢化が進んでいる。	B	新規参加者が思ったより増えず、ほとんどリピーターの参加だった。 新規参加者の開拓が必要である。	
		男の料理教室の実施	生涯学習課(大島公民館)	対象:市内在住の男性 時期:5月から3月 内容:男性も家庭の中で家事等ができるように家庭料理を学ぶ。 12名	男性料理教室入門 時期:10月から12月の4回講座 内容:男性も家庭の中で家事等ができるように家庭料理を学んだ。 12名	A	・アンケートの満足度(料理の楽しさを知ることができたか)が100%と参加者数・内容とも充実した講座だった。 ・今回は公民館情報紙、三条新聞に掲載され、申込みが多かった。ターゲットとなる男性にきちんと情報が届く広報手段の確保が課題である。	
		男の料理教室「男爵」の実施	生涯学習課(本成寺公民館)	対象:市内在住の男性と初心者の女性 時期:昼、夜年間9回 内容:料理の基礎や旬の食材を使った家庭料理の習得。男性だけでなく料理初心者の女性も受け入れる。 24名(昼12名、夜12名)	野菜の切り方やだし汁のとり方などの料理の基本と、旬の食材を使用した家庭料理を習得した。 21名(昼10名、夜11名)	B	・若干目標人数には達しなかったが、昼、夜の各教室に料理初心者の女性も加わり、活気ある教室になった。 ・来年度は初心者に行き届いた指導ができるよう参加募集人数を見直す必要がある。	